

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

83

國家圖書館出版社



國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

83

國家圖書館出版社

第八三冊目錄

昭和二年（一九二七）調查報告（第二十四期生）

北滿地方ノ粟生産ト滿洲粟ノ朝鮮輸入事情

北滿地區的小米生産及朝鮮進口滿洲小米的情況

宮崎武雄

第六卷第五編

……………一

廣東ヲ中心トセル蠶絲業調査

以廣東爲中心的蠶絲業調査

中村加治馬

第七卷第一編

……………二四七

南支勞動組合調査

華南地區工會調査

岡部俊雄

第七卷第二編

……………四〇九

南支沿岸貿易事情

華南沿海貿易情況

中島監

第七卷第三編

……………四九五

南支ノ農民運動
華南的農民運動

大脇浩六郎 第八卷第一編 六二七

北滿地方の粟生産と満洲
粟の朝鮮輸入事情

高田朋生

宮崎武雄

第六卷

東部隣国経済調査

第五編

北滿地方ノ粟生産ト滿洲粟ノ

朝鮮輸入事情

從來南滿ノ粟ハ朝鮮ノ東方沿岸ニ盛シテ輸出サレ
テ唐ノ、然レ北滿ノ粟カ輸出サレシムト至ラバハコノ
穀カ多ク事ニ屬ス、南滿ニ於テ粟ヲ取取リ
タリシハ邦人特産商ナリ北滿ニ進出シテハ地粟
ヲ試驗的ニ朝鮮ニ輸出シタリカ最初ナリ、
朝鮮人ノ常食トスル所ニ在リテ粟ゾント至ラバハ從
來ヨリ知ラシタリシ事ナリ、殊ニ北滿ニ於テハ米、麦等
ノ産スルヲサリウリシヲテ近年ニ至ラバ米作模
廊トスル粟作次第ニ感じ、ソノ補給ヲ滿洲ニ仰ガ

至リテノゾん、軍朝野輸入朝野米日本
移少、主権、彰顯著し、我國食料問題と干
スル一サトモス、

所ヲ滿州軍朝野輸入セウレモ、この南滿
モ大部分ヲ居、此地利ト現在生産高
ノ大ナル方ヲロウ、北滿、アノ曠野ヲ開拓カシ
ク、莫大ナル農産物ノ生産地トナリ穀物ノ
輸少量モ増加スルモノト疑ヒテ、北滿
アノ土地力持テ、牛、カ、鶏ヲ持テ、人肉ノ
不足、乃、肉類ヲ行リ、肉トナシ、現在山東方面
ヨリノ移民、輸入、北滿、道云々、数カ
ハ、土地ノ改良、以テ、土地ノ倍、ハ、

3
原來、北滿ノ粟ハ地方消費ノ目的ヲ裁減セウシ
商埠ト相併シテ各地カ支那人ノ重要ナル食料デ
加之他、酒釀造原料トシテモ用ヒウレハ、粟ハ、家畜飼
料トシテ必要ニシテ市場ニ於テ穀草トシテ取引カレ
居ル等。粟ノ如何ニ都合を廢棄スルモテ、テ、ノ用途
大ニ少カラン。

滿洲ニ於テ、粟ノ產額ハ各調査者ヨリ異リ到底確
定セシ統計的數量ヲ計スルハ、中出來ナイガ

コレスルニ、度々、那側ノ報告ニ基キテ計スルハ、
テ、ラ、ア、ゲン

奉天省

六、〇二五、七〇〇畝

(年平均)

吉林省

六、五九、一〇〇、

黑龍江省

五、五五四、二九〇及

合計

一八、一七九、〇九〇及

熱河省

四、八、〇〇九及

而シテ滿鐵公主嶺農事試験場ニ於テ滿州仁果栽培法ヲ行ハシムル經濟的栽培ニヨリテ平均一畝ニ九石六斗四升ヲ得タ、即チ平均積一五斗一石六斗トシテ然レバ、該試験場ノ成績ハソノ如ク實際亦各地產額ヲ見ルニ上レコシヨリ内輸ニ欠ルハ甚大ナリ、ソコニ一畝平均收穫量ヲ奉天省一石六斗、吉林省一石四斗、遼寧省一石ト推定シ前記作付面積ニ乗チ見付ル所ノ數ハソノ如ク、

奉天省

九、〇三八、五五〇石

吉休吉

九二四一四〇

黑龍江省

五、五四二

分科 二二 八五、四〇

熱河以東

五
三
〇
二
〇
〇

即業^ニ者^ハ此^ノ業^ノ産^ノ額^ノ大^ニ約^ニ千^ニ百^ニ八^ニ十^ニ力^ニ名^ニ也^ニ

玄業橋城りり三割五分一五割丁五分五割四割

ト云ハ 千萬二千八百ノ精業ヲ得ん事ト云フ又那金

國玄策
恆獲亨
一七、二七、六三、九一、一劃
陽弱蒙

之少白平内地、西米產額一五〇一、公〇一、在朝鮮ノ五〇〇一

六〇〇石に比する非常に入量にテ知ラアラム

此篇、於今、栗ノ主彦彦、ハルビ、海倫、克山、

細河、
千ハル、
小河水、
安達、
ハンビシニ
鏡ヶ池
錦内

[illegible]

地名

全耕地面積對比

一、
4、
欠人
地
1/10

六五
0
9
0
~~1~~
0

—
—
%

二、
7
h
e
2
地
上

二
一
五、
9
9
9
9

五、
12

三、
安寧地方

2, 0, 0, 0, 4

五十五

四、松花江下流地方	二〇五、〇〇〇	一五、五
五、伯都訥地方	二五〇、〇〇〇	二一、二
六、南部線地方	四二〇、〇〇〇	二〇、五
七、東部線地方	一五〇、〇〇〇	一五、二
合計一、七五、〇〇〇		平均一五、七
(註一响〓我々及八畝)		
尚ホコシ等各地方、於ン粟以外ノ各種主而女穀物		
植付面積ハ		

大豆	二、九九五、〇〇〇 响
高粱	一、五七五、〇〇〇
小麦	九五〇、〇〇〇
玉蜀黍	八九〇、〇〇〇

たんすいふ業人栽培面積より実収面積中ノ和ニ
位するん、

前記業栽培面積及昨々ノ一响あり收穫量
概算より昨々ノ收穫高より大体次係するより、

(一九二七年度調査有、領)

一、千ヶん地方	三、九〇〇、〇〇〇 不度
二、安達地方	三、四〇〇、〇〇〇
三、クンピレ地方	一、二九〇、〇〇〇
四、碓氷川上流地方	四、三五〇、〇〇〇
五、信都新地方	一、五〇〇、〇〇〇
六、南部新地方	二、四〇〇、〇〇〇
七、東部新地方	三、五〇〇、〇〇〇

合計 下七ヶ年 10,000

(註 一市度 113.0斤)

正長平度ノ作付面積及石合率ハ確定スル後計
ヲ分クモ大凡ク次ノ如ク推想カスルモノナリ

ハルビノ所産 西0.08 一三、六%

西部沿線地方 三〇、〇〇〇 九、八

河山岸地方 一四〇、〇〇〇 一〇、二

南部沿線地方 三〇九、〇〇〇 四、八

東部沿線地方 二九、〇〇〇 九、六

合計 九三九、〇〇〇 平均 二、〇

(一ヶ年ノ平均高産調ベ)

尚ホ次ノ如ク西部各縣耕作地面積表ヲ掲ゲ

筆粟林

総耕地面積

粟耕地面積

青岡原

一九四、四一五响

二一、三三六

安達

二二、八〇〇

二七、二一三

吉山

三〇七、八一八

四〇、〇一四

助水

三〇九、一五九

三一、一九四

梓水

二七八、三三七

三三、二二二

筆州

五八三、二〇〇

八一、三四八

望金

一〇三、五七九

一二、四四二

筆東

三二二、六六〇响

四三、七七二

血俤

二〇五、〇五四

二四、七二七

依安
林甸

三八、八八〇

合計

二、七三一、五七二

三五七、四一三